

仕 様 書

- 1 品名 連続帳票（イメージ出力用）
- 2 単位 箱（2,000枚程度）
- 3 数量 400箱
- 4 納入期間等 2024年6月1日～2025年5月31日（12ヵ月）
* 12ヵ月間の契約期間内で9回程度(予定)とする。ただし緊急対応時は回数を超えることもある。

- 5 納入場所 東京貯金事務センター
- 6 紙質 連続用上質紙（NIP用紙） 1枚坪量 81.4g/m²（連量 70kg）
- 7 規格

縦 228.6mm（9インチ）
横 381.0mm（15インチ）
2,000枚連続で2,000折りとする。

(1) 連続伝票の送り穴の位置と寸法（図1参照）

連続伝票の送り穴の位置と寸法は次のとおりとする。ここでいうセンターラインとは、送り方向に約254mm離れた任意の二つの送り穴の中心を結ぶ線分をいう。

① 送り穴の位置

送り穴は、連続伝票の左右両側の余白にあける。送り穴のセンターラインと対応する端辺との距離Aは、次のとおりとする。

$$A = 6.0 \pm 0.7 \text{ mm}$$

② 送り穴の中心間距離

隣接する二つの送り穴の中心の距離Bは、次のとおりとする。

$$B = 12.70 \pm 0.05 \text{ mm}$$

③ 送り穴の中心間距離の累積誤差

送り穴の中心間距離の累積誤差は、送り穴中心間距離254mmを超えない任意の二つの送り穴の間で±0.3mmを超えてはならない。

④ 送り穴の中心のずれ

送り穴の中心のセンターラインに対する左右のずれの最大許容値Cは、0.1mmとする。

⑤ 送り穴の直径

送り穴の直径Dは、次のとおりとする。

$$D = 4.0 \pm 0.1 \text{ mm}$$

ただし、穴の縁が歯状になっている送り穴は、最小直径が上記Dのとおりとし、最大直径が4.5mmを超えてはならない。

⑥ 左右の対応する送り穴の中心のずれ

左側の任意の送り穴の中心をとおり、センターラインに垂直な直線と、それに対

応する右側の送り穴の中心のずれの最大許容値Eは0.15mmとする。

- ⑦ 左右のセンターラインの傾き
左右のセンターラインを平行に移動して一方の端点と重ねたとき、他方の端点間の距離は0.15mm以内とする。

(2) カット位置の表示 (図1参照)

- ① 各ページの折りたたみミシン目の所定の箇所3箇所にスリットトンボ又は線分でカット位置の表示をする。

- ② カット位置の表示は、ドロップアウトインキで表示する。

- ・色 : ブルー
- ・PCS値 : 0.24以下
- ・読取波長 : 537ナノメートル

(3) ミシン目の入れ方 (図2参照)

指定の各所に各々ミシン目を入れる。

- ① 折りたたみミシン目

- ・タイ寸法 : 0.8mm
- ・カット寸法 : 2.0mm

- ② 中間ミシン目

- ・タイ寸法 : 0.8 ± 0.05 mm
- ・カット寸法 : 2.5 ± 0.05 mm
- ・ミシン止め : 約10mm

8 梱包

2,000折り(2,000枚)を一括として上下に段ボール当紙を当てること。

- (1) 用紙箱のふたは別形式のものにすること。
(2) 用紙箱は用紙の縦、横寸法よりそれぞれ4~7mm(内のり)程度余裕があるものを使用すること。
(3) 用紙箱の底は平坦で用紙を歪ませないこと。

9 外装表示

段ボール箱の見やすい箇所に品名、内容量数、納入年月及び受託者名を表示すること。

10 納入形態

- (1) 一定の周期で定期的に納入できること。
(2) 担当社員の指示により、臨機にも納入できること。
(3) 受託者において一時預りもできること。

11 その他

- (1) 東京貯金事務センターで用いるページプリンタに装着し、使用に支障がないこと。
なお、納入に先立ち実機装着試験を行い評価を行うので、その際、納入物品と同様のものを相当数提供できること。
(2) 問題が発生した場合は、速やかに誠意をもって解決にあたること。
(3) 本仕様書に記載されていない事項及び不明な点等については担当社員と打ち合わせの上、決定すること。

図1 送り穴の位置と寸法等

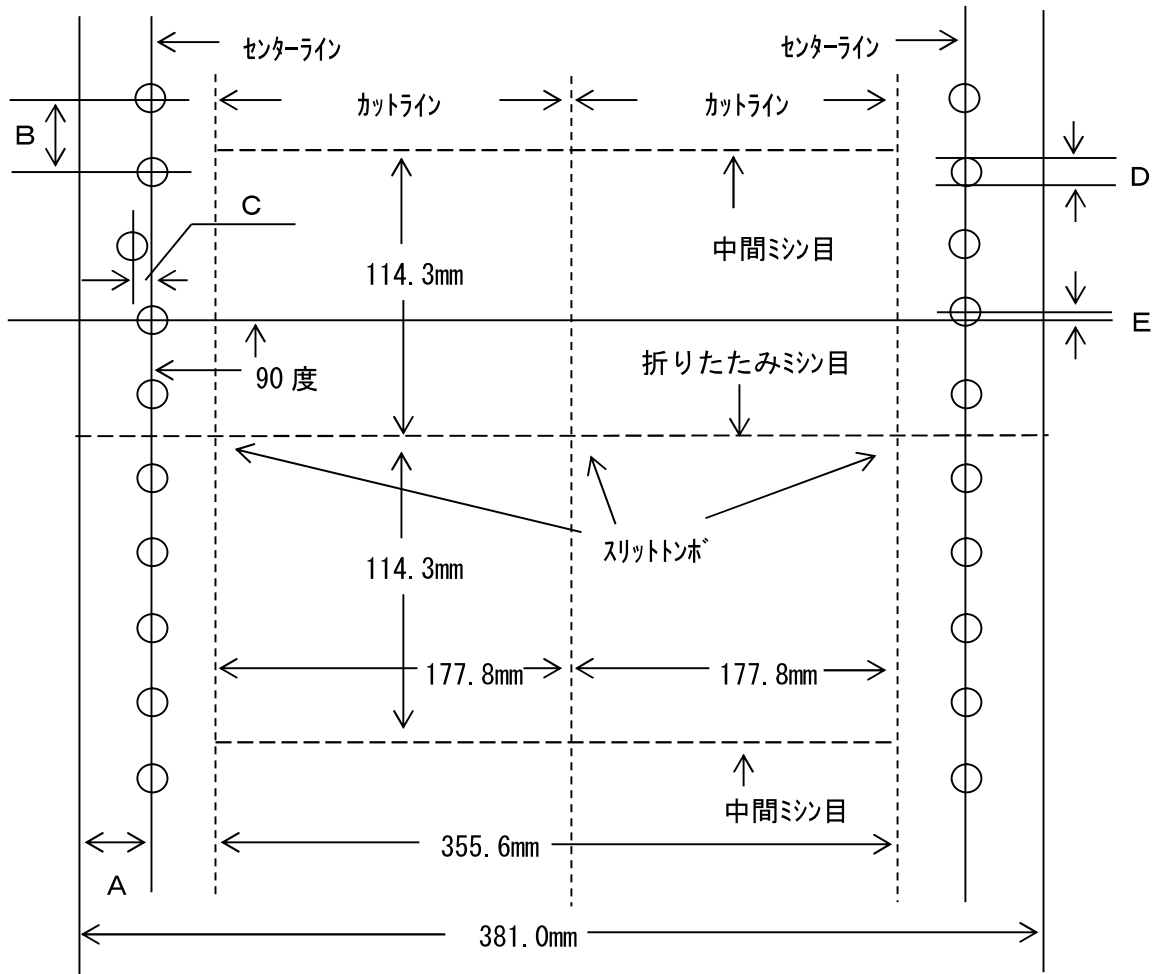


図2 ミシ目の位置と穴の位置

